医薬基盤・健康・栄養研究所―ロシア連邦ピロゴフ名称国立研究医科大学

小児臨床科学研究所国際共同研究交流協定・第１回会議、および、

日露二国間交流事業共同研究（JSPS-RFBR）第１回会議

日時、会場：　2015年6月12日：13:00～17:00、医薬基盤研究所大会議室

**第１部：**　医薬基盤研究所―ロシア連邦小児放射線防護センター国際交流協定　第１回会議　13:00～14:10

　　　司会進行：　野村大成（医薬基盤研究所・プロジェクトリーダー）

　　　　　　　　Liudmila Saakyan（ロシア連邦国営放送会社「スプートニク」（旧モスクワ放送）日本課・コラムニスト

　　講演１：　米田悦啓（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所　理事長）

　　　　　　「医薬基盤・健康・栄養研究所；アカデミア発創薬に向けた基盤研の取組」

　　講演２：　Larisa Baleva（ロシア連邦小児放射線防護研究センター所長）, L. Saakyan

　　　　　　「ロシア連邦の大学研究システムの変革と小児放射線防護センターの設立の趣旨と調査研究課題」（仮）

14:10-14:30　休憩

**第２部：**　日露２国間交流事業（日本学術振興会―ロシア連邦基礎研究基金）　第1回会議　14:30-17:00

　講演1：「共同研究の趣旨と化学物質・放射線の次世代への健康影響：マウスからヒトへ」

　　　　　　　　野村大成（共同研究日本側　代表）

　講演2：「ロシア放射能汚染地域に住む子供たちの健康状態」（仮）

　　　　　　　　Larisa Baleva（共同研究ロシア側　代表）

講演3：「放射能汚染地域住民の子孫における臨床・細胞・分子遺伝学的調査」（仮）

　　　　　　　　Alla Sipyagina（ロシア連邦小児放射線防護研究センター副所長）

　追加講演1：「広島原爆２世における健康障害ー白血病」　鎌田七男（広島大学名誉教授）

　追加講演2：「福島原発被災雄牛における継世代影響評価の試み」　福本　学（東北大学教授）

質疑応答

懇親会　17:30-19:30　５階ラウンジ

（夕食会と自由討論の場です。科学研究費による会議ですので　懇親会費2000円を御負担願います）

主催：医薬基盤・健康・栄養研究所、ロシア連邦国立研究医科大学小児放射線防護研究センター

後援：日本学術振興会二国間交流事業、ロシア連邦基礎研究基金、安田記念医学賞、アミノアップ化学奨励助成金

連絡先：〒567-0085　大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8　医薬基盤研究所　[project7@nibiohn.go.jp](mailto:project7@nibiohn.go.jp)

Tel; 072-641-9845, 9853, FAX; 072-641-9854